

外務省海外安全情報（危険情報：抜粋）

インドネシアへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2024年1月4日（引き上げ/引き下げ/継続）

中部パプア州（ブンチャック・ジャヤ県、ミミカ県）	〔レベル2〕 「不要不急の渡航はやめてください。」（継続）
中部パプア州 （ブンチャック・ジャヤ県、ミミカ県以外の地域） 及び山岳パプア州	〔レベル2〕 「不要不急の渡航はやめてください。」（引き上げ）
中部スラウェシ州ポン県	〔レベル1〕 「十分注意してください。」（引き下げ）
上記を除くすべての地域	〔レベル1〕 「十分注意してください。」（継続）

【ポイント】

- 中部パプア州及び山岳パプア州においては、分離独立を求める武装集団による治安当局等への襲撃事件が散発的に発生しており、治安が不安定な状況が続いていますので、同地域への不要不急の渡航は止めてください。
- 中部スラウェシ州ポン県においては、同県郊外に拠点を持つイスラム過激派に対する治安当局による掃討作戦が実施されてきましたが、2022年10月にインドネシア国家警察が当該組織の壊滅を公表して以降、テロ事件は発生していないことから、危険レベル1（十分注意）に引き下げます。
- 首都ジャカルタを始めとする各地において、政治、宗教、人種、労働・社会問題等に起因する大小様々な抗議デモ等が発生しています。場合によっては、暴動に発展する可能性もありますので、こうした動きに対しても、引き続き十分注意してください。

【概況】

(1) 治安情勢

中部パプア州及び山岳パプア州、中部スラウェシ州ポン県、ジャカルタ首都特別州等の治安情勢については、下記2「地域情勢」を参照してください。

(2) テロ情勢

- ア インドネシアでは、2002年10月のバリ島爆弾テロ事件以降大規模な自爆テロ事件が4年連続して発生したほか、2009年7月、ジャカルタ市内のホテル2箇所において同時爆弾テロ事件が発生しました。
- イ 2010年代に入りシリアにおいて「イラク・レバントのイスラム国」(ISIL)の勢力が拡大されると、それに連動する形でインドネシア国内においても親ISIL系勢力によるテロが発生するようになりました。2016年1月には、ジャカルタ中心部のタムリン通りにおいて爆弾・銃撃テロ事件が発生しました。同事件に関しては「ISIL インドネシア」との組織名で犯行声明が発出されました。その後も、2017年5月に東ジャカルタのバスターミナルにおける自爆テロ事件、2018年5月にスラバヤ市内3か所のキリスト教会に対する自爆テロ事件が発生する等しました。近年も、2021年3月の南スラウェシ州マカッサルのキリスト教会に対する自爆テロ事件や2022年12月の西ジャワ州バンドンの警察施設に対する自爆テロ事件が発生する等しています。
- ウ インドネシアの治安当局の努力によりここ最近のテロ発生件数は減少傾向にあるものの、テロ関係の逮捕者数は引き続き多く、テロに対する継続的な警戒が必要です。具体的には、テロの標的となりやすい警察等の治安関連施設や宗教関連施設等を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知したら速やかにその場を離れるなどの安全確保策に努める必要があります（特にクリスマスから年末年始の時期、断食及び断食明けの時期、大統領選挙等の大きな社会的事象がある時期）。
- エ 上述のような情勢があることを十分に認識して、テロ等の被害に遭わないよう、海外安全ホームページ及び報道等により最新の治安・テロ情勢等の関連情報の入手に努め、状況に応じて適切で十分な安全対策を講じてください。

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp>
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、

外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903
外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306
外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047
までお問い合わせください。

弊社では海外安全情報が発出された場合、原則として〔レベル1〕「十分注意して下さい」までの地域、国についてツアーを実施しており、ツアー実施にあたりましては、現地情報を十分把握し、安全で円滑な日程となる様配慮して運行管理を行っております。